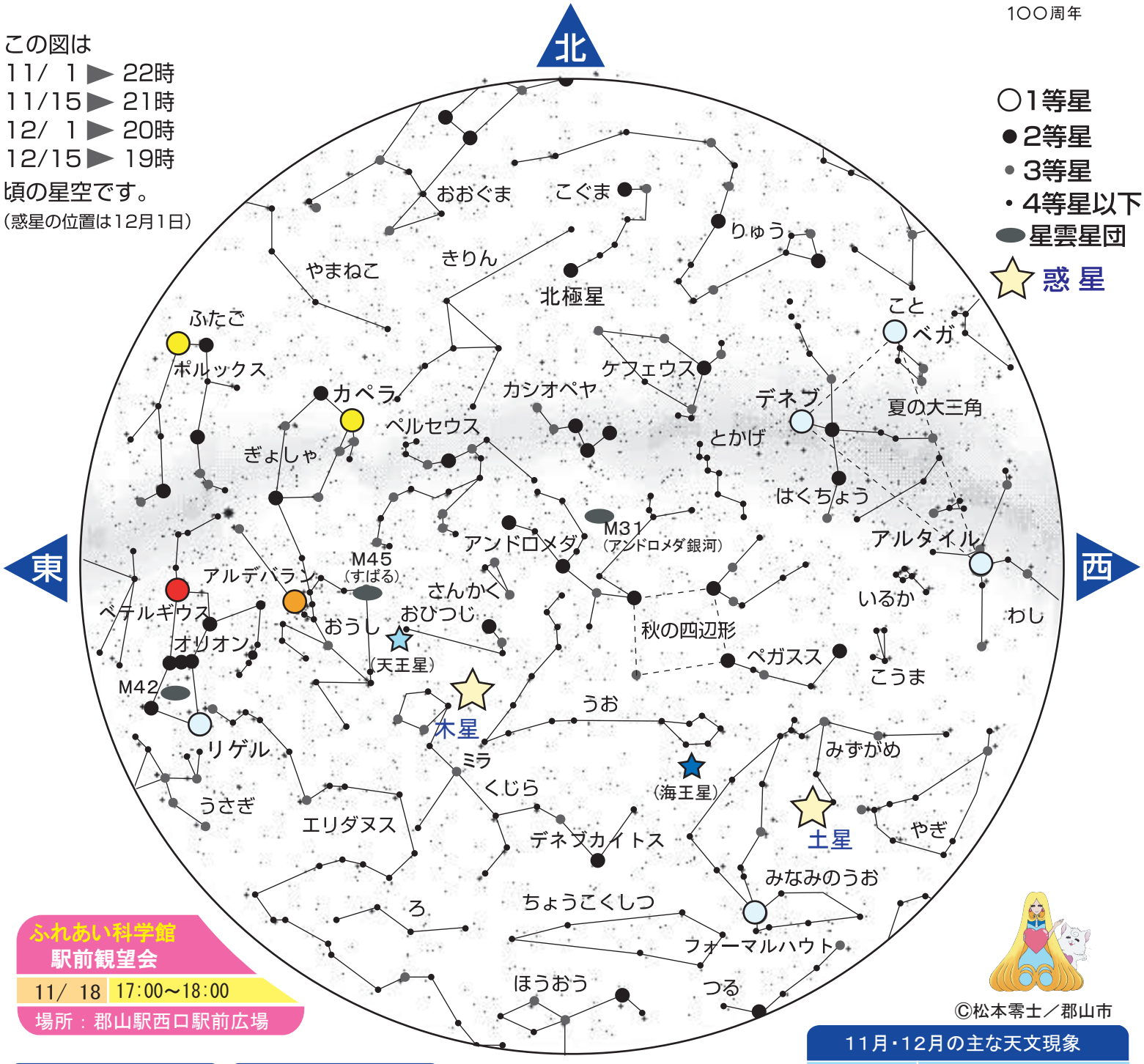
2023年 11月▶12月の星空

プラネタリウム
100周年

この図は
11/ 1▶22時
11/15▶21時
12/ 1▶20時
12/15▶19時
頃の星空です。
（惑星の位置は12月1日）

○1等星
●2等星
・3等星
・4等星以下
星雲星団
惑星



©松本零士／郡山市

ふれあい科学館 駅前観望会

11/ 18	17:00～18:00

場所：郡山駅西口駅前広場

郡山の日の出・日の入		
11/ 1	5:59	16:44
11/15	6:14	16:32
12/ 1	6:30	16:24
12/15	6:42	16:25

月の満ち欠け	
新 月	11/13, 12/13
上 弦	11/20, 12/20
満 月	11/27, 12/27
下 弦	11/ 5, 12/ 5

※上弦、下弦は半月です。
※天王星、海王星は肉眼では見えません。

11月・12月の主な天文現象	
11/ 3	木星が衝（しょう）
12/ 4	水星が東方最大離角
12/15	ふたご座流星群が極大
12/22	冬至

年末が近づき、星空のにぎやかな季節になりました。西の空には夏の大三角が名残を見せ、東の空からは冬の一等星が次々に昇り、それだけで見応えがあります。そして、今年は木星と土星が、明るい星の少ない秋の星たちを挟むように輝き、にぎやかさをプラスしています。この木星と土星にはそれぞれ70個以上の衛星が見つかっています。その中には地下に海を持ち、生命体の存在が期待されるものもあります。現在、木星の衛星探査機JUICEが木星に向かっており、2031年～34年にかけて衛星の探査を行う予定です。12月３日の星の講演会では、JUICEの日本チームの齋藤先生にプロジェクトについてお話していただきます。

また、この時期は流星群にも注目です。三大流星群の一つである「ふたご座流星群」が12月15日に極大を迎えます。今年は月明りがなく条件は良好です。12月13日の夜から15日の夜の３夜がおすすめで、空の暗いところでは１時間に70個に達すると期待されています。夜は冷えますので暖かくしてお楽しみください。

当館の宇宙劇場は１月９日から３月15日まで休館となり、映像システムのリニューアル工事を行います。プラネタリウムの星空は少しの間見られませんが、ぜひ実際の星空をお楽しみください。

スペースパーク
郡山市ふれあい科学館